

《事故情報》

工場内でタンク破裂事故（1名死亡）

（一社）大阪府高圧ガス安全協会
事務局

本年2月7日午後4時頃、福岡県荻田町の工場内で点検中の円柱形タンク（直径4m、長さ6m）が破裂したとの110番通報がありました。

この事故により男性4名がけがをし、病院に搬送されましたが、その後1名が死亡したとの事です。4人はいずれも社員ではなく、外部から派遣されていました。

事故原因の詳細は不明ですが、本事故の状況から学べる教訓を職場で考えていただき、自主保安力の強化に役立てていただきたく、情報を配信させていただきます。

1. 事故概要

- (1) 発生日時：令和7年2月7日（金） 午後4時頃
- (2) 発生場所：福岡県荻田町鳥越町の工場内
- (3) 作業状況：水を入れる円柱形タンク（直径4m、長さ6m）の水漏れ点検を行うため、空気で加圧した。
- (4) 物的被害 円柱形タンクの上部破裂
その他物損は不明
- (5) 人的被害 4名が病院に搬送された。
70代男性が死亡、1名が意識不明の重体。
1名が足の骨折、1名が軽傷。
- (5) 事故原因 円柱形タンクの設置年数が不明ですが
 - ①円柱形タンクの耐圧圧力以上の圧力をかけた
 - ②腐食等により円柱形タンク内に減肉箇所が発生し、検査圧力以下で破断したなどが考えられますが、詳細は不明です。

非常作業において作業手順書の周知徹底、KY活動の実施が重要です。加えて外部業者に作業を委託する場合、取扱う設備の現在の状態や注意点を周知徹底してください。

2. 報道記事（添付します）

- (1) インターネット情報
「福岡 荻田 タンク破裂」で検索すると出てきます。

以上

福岡県苅田町の工場「タンクに圧力をかけていたら爆発した」1人死亡、1人が意識不明の重体

7日午後3時55分頃、福岡県苅田町鳥越町の日本機設苅田工場で「タンクに圧力をかけていたら爆発した」と工場従業員から119番があった。県警行橋署によると、男性4人が病院に搬送され、うち1人（70）の死亡が確認された。また、1人が意識不明の重体で、さらに1人（16）が足を骨折した。同署が状況を調べている。

発表によると、死亡したのは、同県行橋市、自営業の男性。男性らが、工場内で水を入れる円柱形のタンク（高さ約6メートル、直径約4メートル）に空気を入れ、水漏れしないか点検をしていた際にタンクの上部分が破裂したという。残る1人（22）も軽傷を負ったとみられる。

同社のホームページによると、同社はプラント設備工事業者。現場は、北九州空港から南西に約4キロで、企業の工場や営業所が立ち並ぶ一角。



└ 福岡県萩田町

7日午後4時ごろ、福岡県萩田町鳥越町の日本機設萩田工場で、点検中のタンクが爆発したと119番があった。作業に当たっていたのは男性2人で、うち同県行橋市の自営業、松田和夫さん（70）が死亡、別の1人が意識不明の重体。近くにいた他の男性作業員2人も足にけがをしたが、命に別条はないという。

県警行橋署によると、タンクは直径4メートル、長さ6メートルの円柱形で、爆発前は空のタンクに空気を入れて穴がないか確認していた。4人はいずれも社員ではなく、外部から派遣されていた。日本機設のホームページによると、同社はセメント設備をはじめとする大型機械プラントの設計や改造、メンテナンスなどを手掛けている。